



オーストラリア直送レポート

Vol.2 2019.8.12 ドキドキの初登校

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 井口
吉備中学校 島本
- パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 湯田・林

[ドリップストーン校グループ]

今日は初登校の日でした。私たちは、集合時間より少し早めに学校に行き、研修生たちを出迎えました。ホストファミリーとともに登校してくる研修生たちは、笑顔で「グッドモーニング」とあいさつをしてくれました。土日どうだった？と聞くと、バスケの試合観戦に行った家庭や、一緒に買い物に行った家庭など、それぞれ楽しい週末を過ごしたようです。体調の悪い研修生もおらず、一安心しました。その後、現地の学校が用意してくださった控室に集まり、現地学校で私たちの案内やお世話をしてくださるエマ先生が、今日の予定をホワイトボードに書いてくれました。今日の最初の予定は、事前研修で一生懸命練習した1分間スピーチとクイズを披露するウェルカムアセンブリーです。エマ先生から今日は時間があまり取れないので、一人ひとりのスピーチを少し短くしてほしいと要請があり、急遽練習よりも短くせざるを得ませんでした。しかし、研修生たちは戸惑うことなく、すぐに自分の用意した文章を確認し、短く考え直し、対応の速さに感心しました。始まるまでの時間は、特に復習することもなく、研修生同士で土日の過ごし方を楽しそうに話し合っていました。そして、予定の時間になり、エマ先生が研修生たちを迎えに来てくれました。すると、今まで楽しそうに話をしていましたが、一気に緊張した様子で笑顔がなくなりました。体育館に入ると体育館いっぱいの現地の生徒が集まっていました。始めに校長先生から歓迎のあいさつがあり、その後、いよいよ1分間スピーチを発表する時間がやってきました。事前研修ではメモを見ながら発表している研修生もいましたが、今日は全員が自信をもって、堂々とスピーチをすることができました。私は、緊張しながらも練習した成果を十分発揮した研修生たちを見て、非常に誇らしく感じました。しかし、時間の都合上、事前研修で用意した日本に関するクイズを披露する時間がなく、ウェルカムアセンブリーが終わってしまいました。クイズについては、事前研修で一生懸命打ち合わせを重ねていたため、残り4日間の登校日でどこかのタイミングで発表をできるように現地先生にも交渉したいと思います。



その後控室に戻り、オリエンテーションをした後、2班に分かれて現地の授業に参加しました。最初の授業はギリシャ語とICTの授業でした。ギリシャ語の授業では現地の生徒と一緒にゲームをしたり、研修生たちが日本のあいさつを教えたりと交流を深めることができました。ICTの授業では、実際に現地の生徒たちがプログラミングしたロボットを動かしてくれたり、パソコンを使って作業をしました。分からないことがあると、現地の生徒に自ら聞きに行く姿も見られ、積極的に研修に取り組んでいました。次の授業は同じく2班に分かれ、数学と柔道の授業でした。数学では、現地の生徒に混ざり、配られたワークシートに取り組んでいました。また、柔道の授業では現地の生徒とペアを組み、しっぽ取りゲームなど私たち研修生に合わせた内容で、現地の生徒と研修生が交流を持てる授業内容でした。



その後、控室でウェルカムランチを食べ、研修生同士がお互いの授業の様子を話しあっていました。食事中も現地の生徒が、私たちの控室に入ってきて、研修生たちに話しかけてくれました。現地の生徒たちは、研修生たちをすごく歓迎してくれるので、研修生たちも笑顔で交流を持つことができます。昼休憩が終わり、今日最後の授業は、2班に分かれて、先ほど柔道をした班が人文科学（Humanities）、先ほど数学をした班が柔道の授業でした。人文科学では、配られたプリントに書いてある課題をパソコンを使って調べ、レポートを作るという内容でした。研修生たちは現地生徒に教えてもらいながら、パソコンで調べ、レポートを仕上げていました。

今日は、登校初日ということもあり、全ての予定が終わると、研修生たちは少し疲れた様子でしたが、放課後にプールに行く家庭や、クロコダイルを見に行く家庭など、ホストファミリーの方々は、研修生たちが楽しめるように思いやりを持って、研修生たちを預かってくださっています。その思いを無駄にしないよう、研修生たちには、今日よりも積極的に活動し、今しかできない素晴らしい経験をしたいと思っています。（井口）

ドリップストーン校への登校初日。ホストファミリーと共に登校する様子は少し緊張も見られましたが、笑顔で英語を使いながらコミュニケーションをとれている子もたくさんいました。ウェルカムアセンブリーでの自己紹介では大勢の生徒の前でそれぞれ日本で考えてきた自己紹介を見事に発表することができました。発表が終わるたびに大きな拍手をしてもらい、無事に発表が終わったという安心感と、自分の英語が伝わったという喜びと達成感を感じている様子でした。授業では難しい英語に苦労している様子でしたが、多くの生徒が積極的に話しかけてくれ嬉しそうに話している姿がとても印象的でした。これからのドリップストーンでの学校生活で自ら友達に話しかけてたくさんの友達を作ってくれることを期待しています。（島本）

[パーマストーン校グループ]

オーストラリア研修 第5日目

土曜、日曜とホストファミリーと過ごし、博物館、動物園、ビーチ、プールに連れて行ってもらう、スーパーマーケットで買い物などをした様です。

さて、今日から研修生たちはパーマストーン校に通います。朝 8 時に学校に行くともう全員揃っています。どの研修生も元気そうです。

まず、先生に誘導されて体育館に向かいます。そこにはすでに約 650 名の生徒が待っていました。生徒たちが朝礼を進行します。しばらくすると、パーマストンの先生が研修生を前に呼びます。

ここから研修生の自己紹介が始まります。一人ひとり前に出て英語でスピーチをします。事前研修ではなかなかスピーチを覚えられず、また、照れもあったのかうまくいきませんでした。本番では堂々とスピーチをし、パーマストーン校の生徒の反応も良く、全員が自己紹介を終えました。引き続き研修生全員でクイズ形式での日本、有田川町の紹介をします。まずは、日本



の国旗の色は？問題を聞いて生徒が答えます。6 問出しましたがどの問題も真剣に考え答えます。大成功です。

次の時間から授業開始です。日本では先生が各教室に行きますが、こちらでは生徒が各教科の先生の教室に行き授業を受けます。まずは、日本語を教えている教室に行き、授業を受けます。



(移動中の研修生。上の写真では暑そうに見えますが、日本の10月位の見え方でとても過ごしやすいです。)

日本語の教室に着きました。先生が出席を取り授業開始です。研修生たちは朝礼でパーマストン校の制服(背中に PALMERSTON CLLEGE) をもらって着用しています。少しみんなでゲームをし



た後、オーストラリアの生徒は日本語で、研修生は英語で名前や年齢などを尋ねます。



初めての授業が終わり、30分間の休憩が始まりました。日本では休憩時間にジュースや軽食を食べることはありませんが、校内に売店があり、自分の好きなものを買って食べられます。研修生たちは売店でジュースなどを買って椅子に座っているとPS校の生徒たちが寄ってきて話しかけます。すごくフレンドリーです。しばらくすると研修生はPS校の生徒と一緒にどこかに行きました。休憩時間の終わりが近づくと戻ってきて「バスケットボールをしてきた。とても楽しかった」と話してくれます。授業再開です。次の時間から2~4名のグループに分かれ授業を受けます。写真はダンスの授業です。研修生たちは照れながら踊っています。



午前中の授業が終わりランチタイムです。売店に行くとピザやポテト、いろんなものが並んでいます。研修生たちは自分の好きなものを注文し受け取ります。私たちスタッフもここで食べたのですが、ポテトの量がとても多くお腹いっぱいになりました。

午後の授業開始です。この時間もグループに分かれます。

理科や英語、幸福学という授業もあります。どういう内容なのでしょう？午後 2 時間の授業が終わり 14 時 30 分には帰宅します。ホストファミリーを待つ二人です。(下右側写真)

オーストラリアの先生方も授業が終わるとすぐに帰っていきます。クラブ活動などないようで 15



時くらいになると管理職の先生くらいしか残っていません。日本とは働き方がかなり違うようです。(湯田)

8月12日(月)PS校登校初日を迎えました。オーストラリアのダーウィンは、朝から雲一つない快晴。日本に近い気温があるにも関わらず、湿度が低いため過ごしやすい気候です。PS校に朝8時に到着すると研修生たちが現地生徒と会話しながら、集まっていました。研修生たちに挨拶をしながら「元気?」「週末はどうだった?」と質問しようと思っていると、「すごく楽しい」、「ホストファミリーがすごく優しい」と先に教えてくれました。そんな笑顔の研修生たちの笑顔や声を聞いて、充実した週末を過ごしたんだと安心しました。しかし、疲れとホストファミリーの優しさに安心して気が緩んだのか、忘れものをしている研修生も見受けられたので、明日以降は荷物などを再確認するように伝えました。研修生たちと再会して約10分たったころ、PS校の案内役のルーシー先生からウエルカムパーティーが行われる体育館に案内されました。体育館についてPS校生(約650人)を見て、リラックスしていた研修生も少し緊張した表情になりました。なぜなら、有田川町の事前研修で練習した英語による1分間の自己紹介スピーチと日本に関するクイズを、いよいよPS校全校生徒の前で披露するからです。ウエルカムパーティーが始まると、PS校の教頭先生から歓迎の言葉をいただいた後、PS校生が作成してくれたダーウィンの紹介PVを鑑賞しました。そして、いよいよ研修生の事前研修の成果を披露する時が訪れました。1分間の自己紹介スピーチでは、緊張して小聲や早口になるのではと心配をしていましたが、研修生たちは練習の成果を発揮し、自己紹介の中で取り入れた質問形式の場面では、PS校生が笑顔で答えてくれたこともあり、研修生たちは普段以上の力が出せたと思います。また、その勢いによって自信をもって日本に関するクイズを行うと、質問ごとに会場には大きな歓声や笑顔が溢れました。ウエルカムパーティーを大成功のうちにやり遂げた研修生たちの表情からは、安ど感と達成感を感じました。ウエルカムパーティーを終えると研修生たちに教頭先生からPS校ポロシャツのプレゼントをいただきました。研修生たちは早速そのポロシャツに袖を通して、友達同士で似合うか確認しあっていました。2限目、3限目はPS校の日本語クラスで、日本でいう中学1年生、中学2年生のPS校生とお箸を使ったゲームや自

自己紹介ゲームを行いました。自己紹介ゲームでは日本の研修生は英語で、PS校生は日本語を使うルールだったのでお互い緊張しながらもしっかり相手の事を知ろうとする姿勢が感じられました。4限目からは、研修生たちにPS校生がバディーとしてついてくれ、5班に分かれてそれぞれ授業に参加しました。この4限目の授業が、幸福論という授業で日本ではない科目で、どんな内容なのか確認するとそれぞれの価値観で人生を楽しむ方法というものでした。

5限目は、数学、英語、ダンスなどに参加しました。私は、ダンスの授業を見学させていただきましたが、その内容も日本のダンスの授業と異なっており驚きました。授業では、生徒自身が踊りたい音楽をiPhoneで選び踊るスタイルでした。全員が同じ曲でダンスするのでなく、自分の得意なジャンルでダンスをするスタイルが新鮮であり、生徒自身の創造性を高めるのではと感じました。研修生たちもPS校生に身振り手振りでダンスを教えてもらいながら、楽しそうに参加していました。5限目終了後にランチタイムとなり、食堂で研修生たちは自分が食べたいものを注文していました。研修生がランチをもって外のベンチに座ると周りには多くのPS校生たちが集まってくれました。研修生たちは、英語が分からない中でも、ランチタイムなどでさらに仲良くなったPS校生たちとお昼休憩にバスケットボールなどをして、仲を深めていました。まだ、初日ということもあり授業を見学している私に、色々聞きにくることもありますが、今日一日学校の様子を見ていると、研修生それぞれのペースで、異国の地で同世代の生徒と親交を深め、学校生活に順応しているように思いました。PS校生から、「あと何日学校に来れるの？」と質問を受けました。今日を入れて5日だと答えると「思ったよりも短いな」とつぶやいていました。限られた時間の中で、明日は、今日よりも多くの事にチャレンジし、PS校生とコミュニケーションをはかり、充実した1日にしてもらいたいと思います（林）